

キャリア支援通信

No.3

令和7年10月8日(水)
静岡県立東部特別支援学校
キャリア支援課 手塚ふみ

中学部への体験入学

9月11日(木)、12日(金)に、小学部6年生が中学部の体験をする「体験入学」がありました。児童たちは、保護者と中学部について一日の流れや学習の話を会議室で聞いた後、実際に3時間目の授業を中学生と一緒に行いました。教科コースは、「社会」、生活コースは「作業学習」、自立コースは「美術」の授業を体験しました。いつも過ごしている小学部とは一味違う中学部の雰囲気に対し緊張していた小学部6年生でしたが、先輩たちと一緒に活動していく中で、笑顔で楽しそうにしている姿や作業活動に黙々と取り組む姿が見られました。来年、いよいよ中学生になる小学部6年生の児童たちは、この体験入学を通して、中学部のことを知ったり意識したりすることができたと思います。

【教科コース】



「社会科」の『絵を見比べて考えよう』という授業では、江戸時代と明治時代の絵を見比べ、違いに気づき発表することができました。

【生活コース】

「作業学習」の授業では、紙すきの作業の体験をしました。

はがす、ちぎる、はかる、の全工程のうち、はがす作業をしました。



【自立コース】



「美術」の「おもしろ筆を作ろう」の授業では、自分で好きな素材を選んで自分だけの筆を作り、模様を楽しむことができました。

小学部と中学部の違いについて（中学部体験説明会の配布資料より一部抜粋）

目標について

コース別目指す姿

	【体】	【知】	【徳】
教科コース	健康な生活や自己実現に向けて努力する人	いろいろなことに挑戦し、学んだことを活用したりする人	いろいろな人と関わりながら、自分で考え行動する人
生活コース	積極的に身体を動かし、健康に関心を持って生活する人	目標や活動内容が分かり、進んで取り組む人	自分の気持ちを伝えるとともに、相手の話を聞ける人
自立コース	自分らしく健康な生活習慣を身につける人	持っている力でいろいろなことに挑戦する人	関わりを広げ、自分らしく表現する人

教育課程について

中学部 学習コース

	教科コース	生活コース	自立コース
主とする学習	・中学校に準ずる教科学習 ・特小・中・高3年間の学習経験に基づき、学習の目標や内容の一部を、当該学年の前各学年のものに付随することができる	・知的障害特別支援学校の各教科を取り扱う	・小学部の各教科を取り扱いながら、一部又は全部を自立活動に替える
中学部修了時の学習の到達目標	・中学校卒業程度の学力を身に付ける	・生活に根ざした体系的な学習をとおして、社会参加に必要な基礎的な知識や技能、態度などを身に付ける	・健康の維持・増進、生活リズムの安定、身体機能の維持や向上を目指す ・人や物と関わる力を身に付ける

児童から生徒へ

児童から生徒へ

①授業時間、授業内容が変わります

- ・授業時間が45分間から50分間に
- ・教科コースは、教科担任制、授業内容が、広く、深く、難しくなる
- ・生活コースは、学校や地域の方に対して、自分たちができること、相手に喜んでもらえることなどを考えながら取り組む
- ・自立コースは、関わる相手や場面、活動の広がりなどを意識して取り組む

学習活動を通して自分のもてる力を広げ、挑戦する

4 児童から生徒へ

②心も身体も大きくなる3年間

・周囲を意識し、いろいろな人との関わりを広げていく時期	・身長も体重も、子供から青年に変わる時期
・多くの人からの支援を受け入れられるようになる時期	・成長とともに支援方法や目標などが見直される時期

もてる力をのばしていく3年間

①授業時間、授業内容が変わる

②心も身体も成長する3年間

③義務教育最後の3年間

高等部 3 年 第 1 回 移行支援会議

夏休み期間中に高等部 3 年生を対象とした第 1 回 移行支援会議を実施しました。この会議は、卒業後の新しい生活へスムーズに移行することを目的に夏休みと卒業後の 2 回計画しています。第 1 回は、「支援に関わる関係機関に進路希望や地域生活への移行についての本人・保護者のニーズを伝えること」、「関係機関から受けられるサービスを聞き、卒業後の生活の方向性を共有すること」をテーマに行われました。進路決定が近づいてきた 3 年生にとって大事な機会となりました。

地域への移行を控えた高等部 3 年生のタイミングでこの移行支援会議は実施しますが、これ以外にも校内では児童生徒及び保護者の教育的ニーズに応じて、校内支援委員会や関係機関とのケース会議を行っています。悩みや心配事などありましたら、御相談ください。

事業所（施設）見学

夏季休業中に、職員の事業所（施設）見学を①伊豆・田方、②長泉・沼津・函南、③沼津・函南の 3 コースに分かれて実施しました。

【見学施設】

① 伊豆・田方コース

おひさま（伊豆市発達支援センター）

社会福祉法人春風会 あおばの家（生活介護）

社会福祉法人春風会 なぎの家（グループホーム）

社会福祉法人春風会 もくせい苑（就労 B 型）

社会福祉法人春風会 サポートセンター絆（相談支援事業所）



②長泉・沼津・函南コース

社会福祉法人 春風会 沼津虹の家（生活介護）

社会福祉法人 静香会 ほほえみ&みのり工房（就労 B 型）

なないろ（放課後等デイサービス）



③沼津・函南コース

就労継続支援 B 型事業所 トレッセ牧之郷（就労 B 型）

社会福祉法人 輝望会 ミルキーウェイ（生活介護）

ビレッジキッズすんとう（放課後等デイサービス）

駿東ドリームビレッジ（就労 B 型、生活介護）

ドリームリード駿東（相談支援事業所）



就学前の幼児から在校生、卒業生までの利用する事業所や支援機関を見学しました。地域の関係機関とのつながりの重要性、指示の聞き取り、理解、ルールの遵守、活動・作業への意欲などが、社会に出てからも大切であることなどを学んだり、再確認したりすることができました。学校も児童生徒のための関係機関の一つです。学校教育目標でもある「元気にたくましく豊かな人」を目指し、何ができるかを改めて考えていきたいです。